**公益社団法人 京都府視覚障害者協会**

**２０１９（平成３１）年度事業計画**

１．今年度の活動方針

会結成７０周年の伝統を受け継ぎ、新たな時代の要請に耐えうる本会の活動とは何かを模索するための第一歩を刻みたい。

過去からの着実な歩みを検証し、現在における本会の存在意義を明確にするとともに、未来を切り開くための活動の活性化と行動力の蓄積が不可欠である。

とりわけ、本会が公益社団法人としての役割を担い続けるためにも、京都府内の全視覚障害児・者の抱える問題に対応できる福祉団体であることを目指して、社会貢献していきたい。

＜三つの基本理念＞

（１）ノーマライゼーション理念の普及への社会貢献

（２）自己実現と社会参加を容易にするための社会的な働きかけ

（３）独りぼっちの視覚障害者を無くす取り組み

２．事業計画の重点

（１）共に生きる社会の実現

「障害者差別解消法」、「京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例」の理念の完全実施を目指す。

（２）移動の保障と安全な交通環境の拡充

ア．地域団体と連携した交通環境改善に向けての取り組み

イ．同行援護事業利用者の声の集約と制度拡充

（３）情報・コミュニケーション支援の拡充

ア．入院時意思疎通支援事業の拡充

イ．府内市町村における情報・コミュニケーション条例の具現化（選挙公報、自治体広報の発行等）

ウ．読書バリアフリーの推進と点字の普及

（４）雇用・就労対策

ア．職業部として、三療部、音楽部、その他分野との合同協議会の開催

イ．京都府あん摩マッサージ指圧師会再結成への支援

ウ．「あはき法１９条違憲訴訟」勝利を目指す取り組み

（５）福祉広報・啓発活動の推進

ア．「京都ロービジョンネットワーク」の普及・定着

イ．視覚障害の正しい理解と普及に向けた広範な府市民への広報・啓発活動

ウ．音訳・点訳等、視覚障害者支援ボランティアの養成

エ．FacebookなどのＳＮＳを活用しての積極的なプッシュ型広報の推進

（６）本会固有の課題への取り組み

ア．独りぼっちの視覚障害者を無くす取り組みの実践

ａ．運営委員相互の協力による南部アイセンター運営体制の確立

ｂ．福知山市における北部地域拠点の次年度開設に向けた、計画の立案と地域団体と協力した各種要望活動の実施

ｃ．地域サテライト事業などの拡充

イ．トータルプランを各部の活動の根底に据えた取り組みの充実

ウ．当事者活動の大切さをより多くの視覚障害者に伝えるための方策の検討と、地域団体とも連携した本会のみ会員に対する情報提供支援

エ．部長会の自主開催と本会内でのリーダーシップの役割の発揮

オ．財政健全化対策の拡充